



名古屋市で行われた表彰式
長年の功績をたたえての大臣表彰だ



みやがわひろお
宮川博雄さん（室）

木は恋人のようなものですよ

木には、温もりや暖かさを感じさせる力があります。木と付き合い続けて51年。昨年10月に「住生活月間功労者表彰」で国土交通大臣表彰を受けた宮川博雄さん。その大工人生にクローズアップする。

「ものづくりが好き」。それだけの理由で大工になった。「子どもの頃から自分でいろいろなものを作ることが好きでした。鳥かごなんかも作ったなあ」と宮川さんは少年時代を思い出し、目を細める。

そして趣味だったものづくりは、自分の天職になった。中学校を卒業して地元の大工に弟子入り、それから51年間、住宅建設に携わり続けた。長い年月は、多くのことを教えてくれた。大工の師匠は「手を取って教える」とはしない。自分で盗め」と宮川さんに教えた。まだ少年だった宮川さんは、師匠の一挙手一投足を、自分の目で見て、考えて、自分のものにした。厳しい指導にも耐え、仕事をしながら建築大工技能検定や建築士の免許を取得するために勉強もした。その苦労があるから、現在の宮川さんがある。

51年続けていても、大工の魅力は色あせない。「大工には定年がありませんからね。ずっと続けていきますよ」恋人のような木と共に歩んだ大工人生は、これからも続く。

結婚と同時に大津町に居を構えてから、もう40年になる。「受賞や数々の功績も家族あつてのものです。本当に感謝ですね」と宮川さんは照れながら話す。その時に見せた妻のハルミさんの笑顔は、たまらなく素敵だった。

つつじの声

▼表も裏も、原点も頂点も同じものであることが多い。人のことで悩めば、人が解決してくれるし、愛が原点であれば、愛が頂点でもある。そういった、ものの構造とは思ったよりも単純なのかもしれない。ただ大切なのは、視点は2つ以上あるということを知っていること。▼翔陽高校フェンシング部の菊川くんも、キャプテンになって始めて、先輩たちの苦労が分かり、相手の気持ちに立った考えができるようになったといえます。▼相手の気持ちに分かれれば、感動が生まれ、愛が生まれ、思いやりが生まれ、お互いが幸福感を得ることができるようになります。▼今一度、原点に立ち返ってみれば、頂点が見えるのかもしれない。（辻口）

真の男女共同参画
社会に向かつて

3
MARCH 2011

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報
おおづ

今月のみどころ

大津町男女共同参画宣言
都市記念式典

真の男女共同参画を目指す大津町の宣言。

翔陽高校 フェンシング部
全国大会出場

ゼロから始まったフェンシング部。その思いを監督とキャプテンが語る。

クローズアップ大津人

宮川博雄さん

発行：編集 ■大津町・企画課
〒880-1282 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096 (293) 3111

ホームページアドレス
<http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

※この広報誌は定期的に配達して再生紙製の大豆インクを使っています。

印刷 ■ガーブ印刷株式会社